



<p>内田 幸彦</p>	<p>生業 民俗文化財</p>	<p>① 経歴・職歴 民俗文化センター・生涯学習文化財課・歴史と民俗の博物館を経て、文化資源課</p>
<p>うちだ ゆきひこ</p>		<p>② 過去の業務実績 H22第1回埼玉県民俗芸能公開事業運営 H23第53回関東ブロック民俗芸能大会運営 H24～26 県立博物館施設総合調整推進会議事務局を担当 H27企画展「蔵出し資料」運営 H28企画展「祝いの民俗」運営 R1埼玉県文化財保存活用大綱策定にかかる事務を担当 R3協議会に参加した白岡市・秩父市の文化財保存活用地域計画が県内初の文化庁長官認定</p> <p>③ 研究業績等 H15「埼玉県民俗工芸調査報告書 第14集 鴻巣の赤物」民俗文化センター(分担執筆) H17「埼玉県民俗工芸調査報告書 第15集 埼玉の船大工」民俗文化センター(分担執筆) H22(映像記録監修)「国指定重要無形民俗文化財 鴻巣の赤物－民俗技術の記録－」鴻巣の赤物保存会 R3「コレクションとしての民俗文化財とは－文化財指定・排他的分類・工業製品と博物館」『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要第16号』</p> <p>④ メッセージ 指定文化財担当のグループリーダーを務めています。昨年度に引き続き、専門外の有形文化財を担当することになりました。文化財保護審議会の先生や市町村教委の担当者など周囲の方の助けを借りながら、文化財が適切に守られるよう、力を尽くしたいと思います。</p>




佐藤 夏美	民俗学 (衣食住・社会)	① 経歴・職歴 R3.4より埼玉県立歴史と民俗の博物館学芸員
さとう なつみ		
	<p>人の生活を中心とした住まいの保存など、生活文化の保存に関心があります。</p>	<p>② 過去の業務実績 R3 民俗工芸実演「桶作り」(歴史と民俗の博物館) R3 民俗工芸実演「漆刷毛作り」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>③ 著作・研究実績等 R3 「生活を中心とした住まい保存の一考察」(『歴史民俗資料学研究』26号) R4 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 IV』歴史と民俗の博物館(分担執筆)</p> <p>④ メッセージ 埼玉県の学芸員として二年目を迎えました。伝統を受け継ぐ職人の存在や地域性のある産業、固有の行事や食文化など、県内には魅力的な文化が多くあります。埼玉の歴史や文化を積極的に学ぶとともに発信に努めていきます。</p> <p>⑤ その他 愛車のバイクカーで埼玉の気になるスポットめぐりをしています。</p>

戸邊 優美	民俗学 (社会)	①経歴・職歴 埼玉県教育局市町村支援部文化資源課指定文化財担当
とべ ゆみ		②過去の実績 H30 企画展「田んぼー埼玉、人と水の風景ー」(県立歴史と民俗の博物館) H31 DVD『箕田の百万遍』(県立歴史と民俗の博物館) R2 DVD『今井・本川侯の廻り地蔵』(県立歴史と民俗の博物館) R3 特別展「銘仙」(県立歴史と民俗の博物館) ③研究業績 H31 『女講中の民俗誌』岩田書院 R2 『無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事 総括報告書 I』県立歴史と民俗の博物館(編集・執筆) R2 「「民俗資料緊急調査票」の活用と埼玉県の食文化」『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』(14) 県立歴史と民俗の博物館 R3 『銘仙』(展示図録) 県立歴史と民俗の博物館(編集・執筆) ④メッセージ 県民の財産である民俗文化財の保存、普及・活用に努めてまいります。



<p>服部 武 はっとり たける</p>	<p>民俗文化財 諸職</p>	<p>① 経歴・職歴 県立民俗文化センター・県立博物館・県立さきたま資料館・さいたま文学館・県生涯学習文化財課、県立歴史と民俗の博物館・さいたま文学館、県立歴史と民俗の博物館・嵐山史跡の博物館を経て令和3年度より埼玉県平和資料館</p>
	<p>近世末から近現代にかけての、竹細工の生産流通形態の展開を通じた民俗の変貌等</p>	<p>② 過去の業務実績 H12 「竹細工ところかわれば」展(県立博物館) H16 「東京近郊一日の行楽ー花袋が選んだ癒しの旅ー」展 H17 「装丁浪漫ーブックデザイン懐古ー」展 H18 「秩父文学の旅」展・H19「収蔵品展ー永井荷風コレクションから」展(以上さいたま文学館) H24 「職人のわざとカタ」展(歴史と民俗の博物館) H28 「平将門」展(さいたま文学館)</p> <p>③ 研究業績等 H6 民俗工芸実演「よしずづくり」 H6 民俗工芸調査報告書『竹細工』(共同執筆)・紀要執筆 H7 民俗工芸実演「蕨の篠竹籠づくりパイスケ」 H8 民俗工芸実演「足袋作り」(以上民俗文化センター) H9～H12 県立博物館紀要執筆 H11 吉川弘文館『日本民俗大事典』「パイスケ」の項執筆 H13～H15 さきたま資料館紀要執筆『埼玉で発明された民具』 (日高市の桑扱器等、特許の取得されている農具をフィールドワークと特許庁での取材等で調査) H20 P・Dクリエイティブセンター『包装の歴史』復刻・増補版の「段ボール以前の梱包材」の項執筆 H24 歴史と民俗の博物館紀要執筆等 H30 歴史と民俗の博物館民俗館調査報告種「巡り・廻りの民俗行事調査概報Ⅱ」 R2 『民具学事典』(日本民具学会編・丸善出版)「大量生産の民具」の項執筆</p> <p>④ メッセージ 民俗分野の学芸員として、身近な先人の知恵に触れるたび、地域への敬意が一層深まっていくとともに、先人達から現代の自分たちが元気づけられているように思います。昨年度から新たに平和資料館で戦前・戦中・戦後の暮らしについての展示や寄贈資料の展示を担当しています。多くの方のご指導やご助言を頂きながら、平和資料館のミッションにかなった業務ができるように努めています。 資料寄贈者の方から戦前・戦中・戦後時代についての生の証言を伺うことができることと、館に寄せられた数々の資料に触れることができることは、平和を考える上で大変貴重な勉強になるものであるとともに、近現代における民俗の展開を考える上でも新たな気づきを与えてくれるもので、私にとっては宝物であり、とても楽しいことでもあるのです。 勿論、箆や籠をはじめ、民俗に直接関連したお話しをしてくださる方も大歓迎(昨年も何人かの方が来てくださり新たな視野を得ることができました)ですので、是非お気軽にお声がけください。私にとっては全ての皆さんが先生です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

町田 歩未	民俗学(生業)	
まちだ あゆみ		
		<p>① 経歴・職歴 H31.4より県立歴史と民俗の博物館</p> <p>② 過去の業務実績 R1 ミュージアムフォーラム「木本作物農業の産地展開と現況」 R1 DVD「今井・本川侯の廻り地蔵」(歴史と民俗の博物館) R2 出前授業「『神楽』について楽しく学ぼう」(歴史と民俗の博物館) R2 特別展「銘仙」(歴史と民俗の博物館) R3 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」(歴史と民俗の博物館) R3 企画展「お茶を楽しむ」(歴史と民俗の博物館)</p> <p>③ 研究業績等 R1 「【資料紹介】当館所蔵「春日部桐箆筒製作道具」について」(研究紀要第14号)歴史と民俗の博物館(執筆) R3 『銘仙』(展示図録)歴史と民俗の博物館(執筆) R4 『お茶を楽しむ』(展示ブックレット)歴史と民俗の博物館(執筆) R4 『巡り・廻りの民俗行事調査概報 IV』歴史と民俗の博物館(執筆)</p> <p>④ メッセージ 令和4年度は企画展「銘仙」を担当します。銘仙の魅力をより多くの方に発信できるよう努めてまいります。</p>